・天江の鹿島様……明治のはじめ、戊辰戦争の時、天江周辺の集落は一の関藩の兵士によって殆どが焼かれている。しかし天江だけは奇跡的にその難をまぬがれた。天江の「鹿島様」から「楢の木」（現高橋伊勢治）の家の氏神様までは焼けなかったという。当時、大柳と天江の共同墓地の上に、子どもが大砲をかかえて、立っていたからと伝えられている。別にはこの「鹿島様」があらわれ守ってくれたともいわれている。